

仙台陣屋かわら版

第八十八号

(平成二十四年六月号)

HP: <http://www.town.shiraoi.hokkaido.jp/ka/jinya/> Mail: jinya@town.shiraoi.jp
〒059-0911 白老町陣屋町六八一 TEL&FAX 0144-851-2666 仙台藩白老元陣屋資料館発行

歴史講座を開講します

今年も歴史講座の時期が巡ってきました。郷土白老の歴史を探り、未来への道筋を考えるべく例年実施してきた講座ですが、今年で四期目を数えます。講師はかつてアイヌ民族博物館で館長を勤め、退職されたあとも白老地域文化大学学長として活動されてきた中村齋(なかむら)いつき氏です。タイトルは『くらしから見た白老の歩み』親は何をしてきたか。六月と十月に分け、計八回の講座として実施します。予約や参加料は不要ですので、左の日程表を参考に、どうぞお気軽にご参加ください。

■日程

- ・ 六月二日(土) 「白老最初の住民」
- ・ 六月九日(土) 「アイヌ文化の展開」
- ・ 六月二十三日(土) 「蠣崎藏人の駐屯」
- ・ 六月三十日(土) 「仙台藩白老元陣屋の撤退」

■会場 白老「ミセン」二〇四号室

■時間 13時30～15時



さて、日程表からも明らかのように、講座は白老の古代から現代までを通覧した内容となります。長い歴史を単なる時間の経過として捉えるのではなく、親から子、子から孫へと伝達されてきた生活の蓄積として眺めることが目的です。歴史上の大きな転換や停滞、または小さな変化の連続がどうして起こったのか、住人の息遣いに注意を払うことで新たに覚えてくるものがあるのではないのでしょうか。もちろん、そうした原因を知るだけでは、過去はいつまでも過去のままです。この講座で目指すのは、親から子への伝達を今後も絶えることなく続けられていくものと位置づけ、過去の事例を未来のための経験へと変えていくことにあります。特に若い世代の方のご参加をお待ちしております。

史跡の枝拾いを実施しました

霧雨のそぼ降る四月二十六日(木)、史跡の枝拾いを実施しました。史跡保存会や地域の方々のボランティアにより、GWや花見シーズン到来に先立ち、史跡が見違えるほど綺麗になりました。

みなさんもご存知のとおり、今年は降雪量が多い年でした。陣屋の雪解けもいつになく遅れ気味で、資料館でも春が来ないのでないかと心配していました。そしてようやく芝生が顔を出すと、資料館職員も見たことが無いくらい、史跡にも雪の被害が及んでいたのです。枝拾いは例年行なっていました。雪の重みで大きな枝が根元から折れていた点が今年の特徴でした。そのため大変な作業ではありましたが、総勢二十五名が約三時間、力を合わせて史跡の保全に取り組みました。落ちていた枝がなくなっただけで、景観が良くなり、これから始まる草刈もきつとはかどることでしょう。桜や辛夷(ごぼうし)の花を楽しみに来場される方も、喜ばれることと思います。悪天の肌寒い中、朝早くから枝拾いに参加して下さったみなさん、本当ありがとうございました。



『国際姉妹都市提携三十周年記念展』 閉幕しました

三月十七日(土)より開催してまいりました平成二十三年度PR展が、五月六日(日)をもちまして閉幕いたしました。期間中の来館者は千三百名以上。交流に参加されたことのある方からは、数十年前の写真懐かしむ声も聞こえてきました。

さて、毎年白老町の【歴史】と【文化】をPRしていく本展示会。二十三年度は昭和五十六年、カナダのプリティッシュコロンビア州ケネル市と、国際姉妹都市盟約を結んでから三十年が経過したことを記念し、両都市の交流に焦点を当てて開催いたしました。皆さんいかがでしたでしょうか。ケネル市との交流は、白老町の【歴史】と【文化】を語る上



〈左：姉妹校交流の記念品 右：白老町・ケネル市姉妹都市盟約宣言文調印式〉



で欠かせないものであり、展示を通して多くの方々に白老をPRできたことと思われれます。町と町とが結びつくということは、人が結びつくことです。そこに芽生えた友情など掛け替えのないものを、展示物から感じていただけたのではないのでしょうか。

大昭和製紙(現在の日本製紙)のカナダ進出を契機に築かれた両都市の関係は、今後も大切に育まれていきます。今年はケネルからの代表団が来町する予定ですので、この良き関係が末永く続くよう、白老町の資料館として励んでいきたいです。

満員御礼！

今年は寒い日が続いたせいか、史跡の桜の開花が例年以上に遅い気がします。GWにも桜は間に合いませんでしたが、陣屋資料館は多くの入場者で華やかでしたよ。最終日の五日【こどもの日】には、楽しい企画が満載の、「こどもの日企画」を実施。参加者が五十名を超える大盛況となりました。今年は、例年行なっている手焼きせんべい体験や鎧兜の試着体験など



〈兜を作って記念撮影！
みんな上手に出来たかな？〉

に加え、新企画の「陣屋クイズラリー」を試みしました。

残念ながら天候に恵まれず、予定していた史跡を巡るラリーは、館内

を利用したクロスワード・クイズラリーに変更となりました。館内展示のヒントを辿り、陣屋に関する言葉を埋めていくことで、最終的に八つのキーワードが浮かび上がります。展示内容は難しい漢字が多いので、皆さんかなり苦労していたようです。しかし、参加したセググループ全てが見事クロスワードを解き明かし、景品の素敵なお菓子を獲得しました。参加した子どもたちからは、「楽しかった」、「昔のことがわかって勉強になった」といった声も聞こえてきました。来年は更に内容を充実させて臨みたいと思います。

「武者人形展」は五月五日をもって閉幕しましたが、今年もお力添えくださった皆さん、本当にありがとうございます。そして、優美な姿を披露してくれた五月人形たちもお疲れ様でした。来年のGWは、もっと晴れの日が続くといいですね。またよろしくお祈りします。



「仙台陣屋かわら版 第八十八号(平成二十四年六月号)」

発行日：平成二十四年五月二十二日(火)

発行所：仙台藩白老元陣屋資料館 担当者：平野・干場